

都市計画法第43条建築許可申請書 添付書類一覧

提出部数 2部

(正本1部・副本1部)

(図書の大きさは、原則A4サイズ)

分家 住宅	既存 建替	既存 宅地	宅地 利用	収用 移転	日用品 店舗	書 類	備考(作成要領)
○	○	○	○	○	○	申請書	別紙、記載例を参考に記載すること。
○	△	不要	不要	○	○	理由書	申請の理由を記載し、署名・押印すること。
○	○	○	○	○	○	敷地概要書	裏面の記載例を参考に作成すること。
○	○	○	○	○	○	位置図(1/2500程度)	縮尺・方位・敷地の位置と形状を記載すること。
○	○	○	○	○	○	敷地現況図 (1/250以上)	敷地の境界、周辺の公共施設、建築物等の位置、 がけ及び擁壁、写真の撮影位置等を明示すること。 擁壁については、構造・高さ・天端高・延長も記載すること。 敷地4隅の現況地盤高を記載すること。
○	○	○	○	○	○	配置図 (1/250以上)	敷地の境界、周辺の公共施設(道路は道路名称、建基法 該当号を記載)、予定建築物等の位置、擁壁(既存・新設) の位置・構造・延長・天端高、排水施設の位置・種類・ 形状、水の流れの方向を明示すること。 都市計画道路が通る場合、その位置を明示すること。 敷地4隅の計画地盤高を記載すること。
○	○	○	○	○	○	縦横断面図 (1/250以上)	計画断面(現況及び計画地盤高も記載)、道路、水路、予定 建築物、切土高・盛土高、(または切土・盛土なし)を記載すること。 切土部分は黄色、盛土部分は赤色に着色すること。
△	△	△	△	△	△	擁壁の断面図 (1/250以上)	擁壁を新設する場合、構造を明示すること。 宅盤高、隣地地盤高等、周辺状況について明示すること。
○	○	○	○	○	○	公図写	申請地は黄色、公道は赤、水路は青、堤塘敷は 薄墨色に着色し、方位・縮尺を明示すること。 (3ヶ月以内のもの)
○	○	○	○	○	○	敷地求積図 (1/250以上)	セットバックをする場合や申請敷地が500㎡以上で敷地に 盛土をする場合は、その部分も別途求積すること。
○	○	○	○	○	○	建築物の平面図、 立面図	構造、規模(建築面積・延床面積)、建ぺい率、容積率、 高さを記載すること。
○	○	○	○	○	○	土地登記簿謄本	発行日が申請日から3か月以内のもの。宅地となった日 や取得日を確認する場合や、既存宅地確認日以降に分 合筆をしている場合など、関係する複数の謄本や閉鎖謄 本も必要な場合あり。 排水施設箇所や排水先が民地の場合、その土地の謄本 (コピー可)
△	△	△	△	△	△	土地使用承諾書	申請者と土地所有者が異なる場合に必要。 共有地なら全共有者。 排水施設箇所や排水先が民地の場合も必要。
○	○	○	○	○	○	誓約書 (申請者の自筆・署名・押印)	申請に係る建築物について、貸与・転売・用途変更※ しない旨を誓約する。(書式自由) ※貸与・転売等誓約しなくても良い場合もあります。詳細はお問合せください。
○	○	○	○	○	○	現況写真	敷地の現況、接道の状況、放流先河川の現況、がけ・擁壁 の現況がわかるもの(2方向以上)。 敷地の境界を赤い線で明示すること。 撮影した日付を記載すること。(3か月以内のもの)
①	②	③	④	⑤	⑥	許可に係る証明書	① 戸籍謄本、家系図、50戸連たん図等 ② 既存建築物が適法に建てられたことを証する公的証明、 新旧対照表等 ③ 既存宅地確認通知書の写し ④ 線引き時宅地の公的証明、50戸連たん図 ⑤ 収用証明書(構外再築工法)、三者契約書の写 ⑥ 免許等の写、50戸連たん図、業務内容書
△	△	△	△	△	△	農転許可書	申請中の場合は、受付印を押した申請書の写。
○	△	不要	不要	不要	不要	住民票	居住する世帯全員のものを添付。
△	△	△	△	△	△	他法令の手續の状況	占用許可・工事承認申請に該当する場合は、申請書の写を添付
不要	不要	△	△	不要	不要	立地適正化計画・地区計画届出	届出の対象行為に該当する場合。都市計画係に確認。
△	△	△	△	△	△	委任状 (委任者氏名は記名+押印か自筆)	本人以外が申請書等を提出等する場合に必要。

○……必要書類 △……必要に応じて添付する (その他の用途は別による)

注:副本に添付する公的証明(土地登記簿謄本・住民票等)は、複写のもので可。